

～ひとに心 まちに風～  
いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら

# はむらの教育

「学びあい豊かな心をはぐくむまち」  
の実現を目指して



平成二十年度「教育目標」

〈基本目標〉

羽村市教育委員会は、子供たちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、  
○お互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間

○社会の一員として、社会に貢献しようとする人間  
○自ら学び考え行動する、個性と想像力豊かな人間

の育成に向けた教育を重視します。

また、家庭や地域の教育力の向上、学校教育の充実、青少年の健全育成、スポーツ・レクリエーション活動、芸術文化活動、読書活動の推進など子供の健全な成長に資するための施策、環境の充実などを促進し、健康な心身をはぐくむことができる社会の実現を図っていきます。

そして、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行わなければならないものであるとの認識に立って、すべての市民が教育に参加することを目指していきます。

〈基本方針〉

○「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

○「豊かな個性」と「創造力」の伸長

○「生涯学習」、「文化・スポーツ」と「青少年の健全育成」の振興

○「市民の教育参加」と「学校経営の改革」の推進

No.13

平成20年(2008)  
7月1日発行

# 小・中学校の教育をもっと推進します

## ・中学校 紹介

### 羽村東小学校

**教育目標** よく考え 進んで実行する子  
・自ら学び、自分の考えを高める子  
・思いやりをもち、かかわりを深める子

#### 学校紹介

目指す学校像は、「子供の可能性を引き出し高める教育の創造～質の高い授業～」です。学校経営のキーワードは、本校の校章にもなっている「さくら」を言葉に入れ、「一地域の風が通る、さくら舞う学校」です。

「さ」……さがし、みつける→「く」……くふうし、つかむ「ら」……らんらんと輝き、深める→「まう」……舞う、あらわす

この、「みつける→つかむ→ふかめる→あらわす」は、現在、話題となっている「PISA型読解力」といわれるものです。「先に『PISA型読解力』ありき」、ではありませんが、本校でもこの考えを活用し、子供の「考える力」をはぐくむ一助としていきたいと考えます。



校長  
佐藤美知子



副校長  
小山 夏樹

### 栄小学校

**教育目標** 『よく考えて学ぶ子 明るくじょうぶな子 助け合って働く子』を目標とし、あたりまえのことがあたりまえにできる子供を育てていく

#### 学校紹介

教育目標達成のために、「思いやりのある子供」「心が通い合うさわやかな生活」「自分の力を伸ばす～学ぶ喜び」「ふるさとや夢を大切に」「豊かな心を育てる」「子供とともに」の6つを重点化して教育活動に取り組んでいます。

具体的には「縦割りのなかよし班による花植え活動(春・夏)・あいさつのひびきあう学校・習熟度別少人数指導と10分間計算タイム・あこがれ夢広場と英語活動・子供と一緒に遊ぼうデー・朝読書等」が定着しています。他に地域と連携した田植え、稲刈り等の農業体験、持久走大会、金管バンド等も充実しています。



校長  
水野 孝一



副校長  
西田 市善

### 羽村西小学校

**教育目標** ○よく考え、進んで学ぼう(基本的な学習習慣が定着している子供の育成)  
○みとめあい たすけあおう(あいさつ、返事、気持ちのよい言葉づかいが自然にできる子供の育成)  
◎じょうぶな体をつくろう(基本的な生活習慣を身に付け、心身の健康づくりに努力し、自信をもって活動する子供の育成)

#### 学校紹介

○地域に開かれた学校 「毎日が授業参観日」  
教育活動の公開性を高め、みなさんに学校での子供の様子を知っていただくことが最高の説明と考えます。また、人の目と声で子供の安全を確保します。

○基本的な生活(早起、早起き、朝ごはん、朝うんち)・学習習慣  
健康な心と体 確かな学力  
確かな学力を身に付けさせていく土台は、基本的な生活・学習習慣の定着にあります。また、学習・生活を支える健康な心と体も不可欠です。

・基礎・基本の徹底(算数科での少人数習熟度別指導・学習サポーター・学習支援ボランティアの活用・夏休み中のサポートデー・体験重視型の講座サマースクール・親子読書ボランティアの方々による本の読み聞かせやお話会・肉声による朝会・集会・水泳指導の実施・家庭と連携した基本的な学習・生活習慣の定着)

・生活習慣の徹底  
○安全で安心できる学校  
安全で安心が確保できるよう保護者・地域の方と連携して子供の登下校の安全を図っています。



校長  
宇都宮 透



副校長  
海東 朝美

### 松林小学校

**教育目標** よいこがつくる美しい学校  
よく考える子 いつも元気な子  
こころのやさしい子

#### 学校紹介

学校を取り巻く恵まれた教育環境を生かして、平成19・20年度と文部科学省特別支援教育研究協力校の指定を受けて、東京都立羽村特別支援学校との交流及び共同学習を進めています。

この他に、羽村市動物公園を活動の場として生活科及び総合的な学習の時間に活動を行っています。東京都立羽村高等学校とは花の苗植え活動を通して交流を深めています。羽村市スイミングセンターを活用して低学年が水泳指導を行っています。

「よいこがつくる美しい学校」を教育目標に掲げ、経営の柱とし、児童・保護者・地域の方々にとって「希望的な存在となるような学校」の創造を目指し日々の教育活動を行っています。



校長  
渡邊 慎吾



副校長  
中野 和人

### 富士見小学校

**教育目標** やさしさいっぱい富士見小  
「やさしく」「かしこく」「たくましく」

#### 学校紹介

「どの子どももみんな自分の子、共に育てようふじみっ子」を基本理念として、保護者・地域と協力して、教育目標の達成を目指しています。

今年度、学習に関しては、特に毎時間の授業の充実を重点にしています。「分かった・できた」という喜びを味わえるよう、教職員は授業改善に努めています。また、生活指導面では「あいさつ・安全・後始末」の3つの「あ」を重点に指導しています。特にあいさつに関しては、毎朝、校長が校門に立ち、児童と元気にあいさつをかわしています。昨年度途中から、高学年の児童が自主的に「あいさつ隊」を結成し、毎朝、校長とともに校門に立っています。

特色ある教育活動として、高学年児童全員が取り組む金管コンサート、夏休みの玉川上水を歩く会、アメリカンスクールとの相互交流など国際理解教育として取り組む全学年の英語活動等々、子供たちが楽しくいろいろな力を発揮できる教育を目指しています。



校長  
島田 定



副校長  
仲光 秀城

# 明日の羽村を担う、 私たちが責任を

## 羽村市立小 学校

### 羽村第一中学校

教育  
目  
標

みずから鍛える ひろく思いやる すすんで考える

#### 学校紹介

18学級、通級1学級 計19学級 生徒数660名 教職員数51名  
明るく素直で礼儀正しい生徒が多く、学習や行事等に熱心に取り組んでいます。

本年度は

- ア. 授業の工夫・改善
- イ. 全校体制で読書活動の推進と図書室の活用
- ウ. 生徒会を中心とした地域と連携したボランティア活動の推進

を目指しています。

教師と生徒、生徒相互の信頼関係を深め、人間的な温かさと厳しさをもって、中学校生活の充実を図っています。

羽村市教育委員会の研究指定校として、特別支援教育体制・副籍モデルの実践研究の発表会を平成21年2月17日に予定しています。



校長  
嘉陽 義明



副校長  
神崎 康雄

### 羽村第二中学校

教育  
目  
標

「新しい時代を担う、自主的な人間を目指して」

- 最後までやりぬく、たくましい人
- 心豊かな、思いやりのある人
- よく考え、より高い目標を追求する人
- きまりを守り、よりよい社会をつくる人

#### 学校紹介

- 1 基礎・基本の定着、学力の向上と授業改善
  - 校内研修・研究授業に積極的に取り組み、生徒にとって「わかる授業」・「魅力ある授業」を創造し実践していきます。
  - 個別指導の充実を一層図るため、2・3年の英語・数学に少人数指導（習熟度別授業）を取り入れ、1年の英語・数学に学習補助員を導入します。
- 2 家庭・地域に根ざした教育の推進
  - 個別支援、教育相談活動の推進と特別支援教育体制の充実を図ります。
  - 職場体験学習や地域の夏祭りへの参加等、地域社会での体験活動を通して社会参画能力や協調性を高め、生徒の生きる力を育成します。
  - 家庭との連携による家庭学習の定着・向上と食育の推進を図ります。



校長  
須藤 芳正



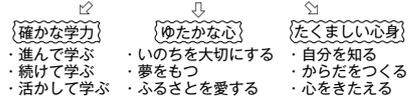
副校長  
石塚 克美

### 小作台小学校

教育  
目  
標

よく考える子・思いやりのある子・元気な子 を受けて

自分もひとも大切にできる子



#### 学校紹介

今年度は15学級、488名で新学期がスタートしました。

学習面では、日々の授業改善と個に応じた指導を行い、基礎・基本の学力の定着を図ります。本年度は、子供たちの「言葉の力」を高める指導を大切にしていきます。

伝統・文化や郷土羽村に親しむ活動も大切にしていきます。

安全・防犯教育の充実と、地域やPTAとともに子供の安心・安全に取り組み、その中で、子供たちが自他を大切にできる気持ちと態度を育てていきます。

人はかかわりの中で生きています。人は人に磨かれ、自然に学び、社会に育てられます。その過程を大切に、その子にあった支援ができるように努めていきます。そのために私たち教職員は、子供たちをしっかりと理解し、指導の力を磨かなければなりません。どうぞ、ご家庭、地域でもお力添えください。



校長  
江本 裕子



副校長  
徳長 邦彦

### 羽村第三中学校

教育  
目  
標

- かしこく (自ら考え 進んで学ぶ人になろう)
- やさしく (心豊かな、思いやりのある人になろう)
- たくましく (最後までやり抜く、意志の強い人になろう)

#### 学校紹介

落ち着いた学習態度で授業が進み、平成20年度がスタートしています。

生徒会の生活委員会ではチャイム着席の号令をかけ、美化委員会は学校を綺麗にしたいと点検活動を行っています。

部活動は、野球部は西多摩地区優勝、サッカー部、女子バスケットボール部は第3位とがんばっています。また他の部活動も盛んに行われています。

今年度の学校経営方針は、

- ①「基礎・基本の定着」 授業改善の実施と振り返りテストや家庭学習の結び付き。
- ②「基本的生活習慣の確立」
- ③「小・中学校一貫教育校」パイロット校として、中間報告を受けて研究に取り組んでいます。



校長  
瀧島 薫



副校長  
大越 洋一

### 武蔵野小学校

教育  
目  
標

自分を大切に、友だちを大切に、  
一人一人を大切にできる学校

- よく考える子
- ◎思いやりのある子
- 健康な子

#### 学校紹介

子供たちのもっているよさと、身に付けさせていきたいことを明確にし、保護者や地域の皆様の思いをしっかりと受け止めながら、到達するべき目標を確認し、具体的な方策へとつなげてまいります。

具体的には、小・中学校一貫教育校のパイロット校として、義務教育9年間のまとまりで児童を見つめ、幅広く「人間力」を形成していきます。

子どもたちが、夢と希望に向かって前向きに取り組み、限りなく成長していけるように、教職員一人一人の努力はもちろんのこと、全員の力を結集し、日々の教育活動を一層充実させていきます。

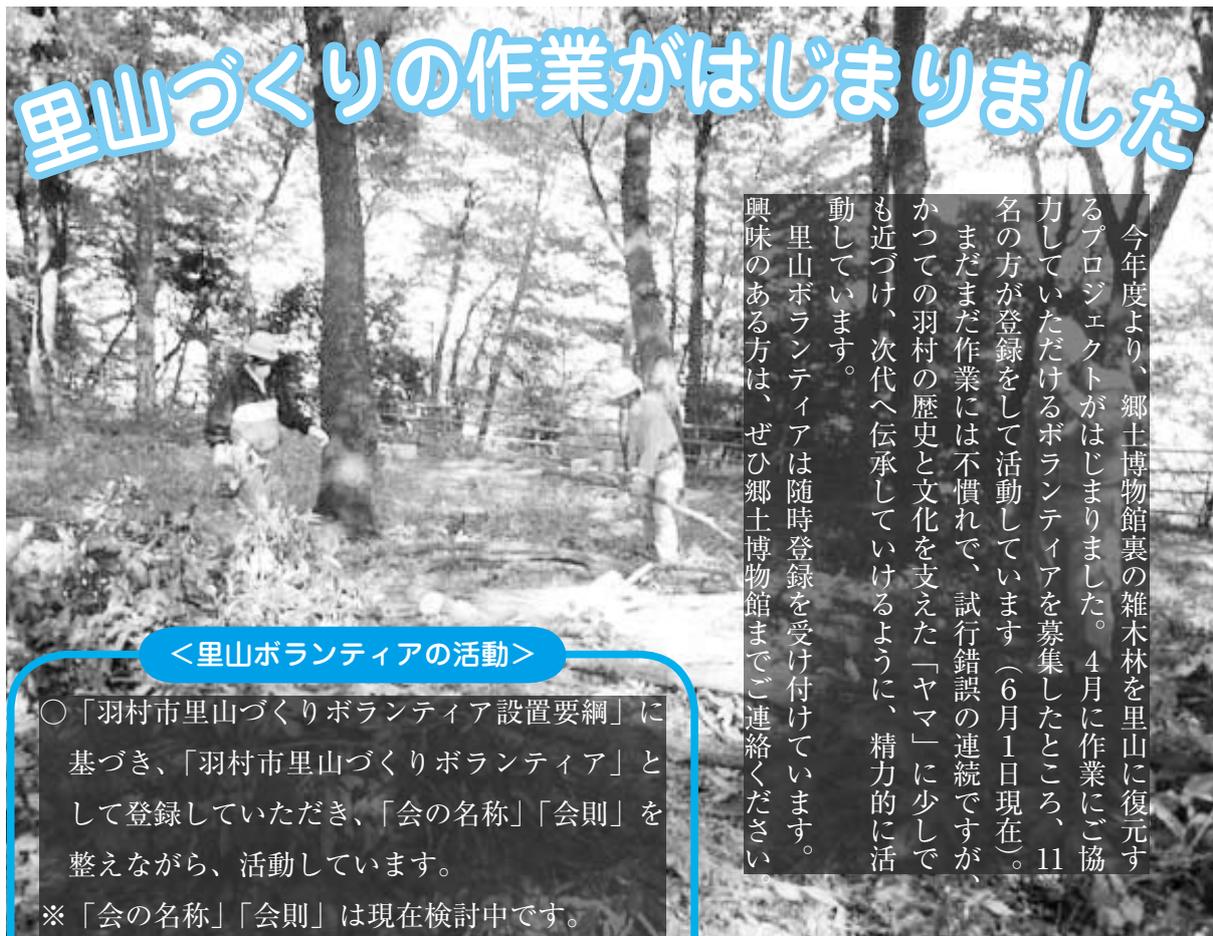


校長  
愛甲 慎二



副校長  
金子 真吾

# 里山づくりの作業がはじまりました



今年度より、郷土博物館裏の雑木林を里山に復元するプロジェクトがはじまりました。4月に作業にご協力していただけるボランティアを募集したところ、11名の方が登録をして活動しています（6月1日現在）。まだまだ作業には不慣れで、試行錯誤の連続ですが、かつての羽村の歴史と文化を支えた「ヤマ」に少しでも近づけ、次代へ伝承していけるように、精力的に活動しています。

里山ボランティアは随時登録を受け付けています。興味のある方は、ぜひ郷土博物館までご連絡ください。

## <里山ボランティアの活動>

○「羽村市里山づくりボランティア設置要綱」に基づき、「羽村市里山づくりボランティア」として登録していただき、「会の名称」「会則」を整えながら、活動しています。

※「会の名称」「会則」は現在検討中です。

- 毎月第3土曜日が定例活動日です。
- 入会（登録）、退会（抹消）、活動日、活動時間は、原則自由です。どなたでも、いつでも活動できます。
- ※経験・未経験を問いません。
- 報酬や謝礼はありません。
- 鎌やノコギリなどの道具は、郷土博物館で準備し、それぞれお貸しします。

## <これからの予定>

- 秋頃までに下草刈り・堆肥作りのための落ち葉置き場の設置などを行います。
- 秋以降、小径木の伐採（萌芽更新）や枝払いなどを行います。
- ワークショップや機関紙の企画を行います。
- 随時、定点観測や講義形式による研修会などを行います。

## <作業の内容>

### 〔管理的作業〕

落ち葉掃き・堆肥作り・下草刈り・萌芽更新

※大径木の伐採は、専門業者に委託して実施します。

### 〔普及的作業〕

ワークショップの開催・定点観測・機関紙の発行

※管理的作業は基本的に屋外作業で、実際に博物館裏の雑木林での作業です。

※普及的作業は企画や準備は郷土博物館の室内で行いますが、事業は博物館裏の雑木林で行います。

●問合せ 郷土博物館

## 羽村市の社会教育関係委員 (敬称略)

### ■社会教育委員 (◎…議長、○…副議長)

学校教育関係者	宇都宮 透	家庭教育の向上活動者	石黒 奈保美
社会教育関係者	田村 義明	学識経験者	○木村 兼江
	並木 太一		浦野 雅文
	堀 茂子	◎川津 紘順	
	古川 光昭		西田 小夜子

### ■文化財保護審議会委員 (◎…会長、○…副会長)

◎櫻 沢 一 昭	持田 友宏
○白 井 裕 泰	坂詰 智美
和 田 哲	金子 淳
坂 上 洋 之	

### ■スポーツ振興審議会委員 (◎…会長、○…副会長)

学校教育関係者	嘉陽 義明	社会教育関係者	小山 茂樹
社会教育関係者	◎柴田 俊男	学識経験者	古田 裕子
	○青島 一也		中村 平
	新島 二三彦	関係行政職員	浅野 豊海
	天満 喜代子		

### ■体育指導委員 (◎…会長、○…副会長)

◎新島 二三彦	石川 規子
○藤田 友美	正親 和代
○吉江 友秋	渋谷 権司
○田村 芳雄	山本 裕夫
森田 幸雄	古林 万芳
加藤 正美	佐々木 さと子
岡 あけみ	成瀬 一明
堀口 和美	飯塚 竹男
上田平千賀子	梅垣 明子

**社会教育関係委員が委嘱・任命されました**

羽村市の社会教育行政の大きな力となる社会教育関係委員の委嘱・任命式が、4月13日に行われました。任期は、平成20年4月1日から平成22年3月31日までの2年間です。

#### ■社会教育委員の会議

羽村市の社会教育がどうあるべきか、課題と解決策を研究し、教育委員会に助言します。

#### ■文化財保護審議会

羽村市の文化財の保護や活用について、教育委員会に建議します。また、郷土博物館

の運営についても助言します。

#### ■スポーツ振興審議会

羽村市のスポーツ振興に関する重要事項について調査・審議し、教育委員会に建議します。

#### ■体育指導委員協議会

スポーツ振興のために、市

民へのスポーツに関する指導・助言(実技指導も含む)を行います。

#### ●問合せ

生涯学習課  
体育課  
郷土博物館

## フォトニュース

羽村一中で中学生交通安全教室が開催されました



去る5月28日、羽村第一中学校校庭において、警視庁本部交通総務課並びに福生警察署の協力を得て、中学生交通安全教室が開催されました。

当日はスタントマンによる自転車交通事故の再現や自転車運転教室が開催され、現実に即した交通安全教育が行われました。

●問合せ 教育総務課  
生活安全課

## 図書館よりお知らせ

夏休み期間中は、開館時間が変わります

期間 7月20日(日)

～8月31日(日)

●本館…午前9時～午後8時

●小作台図書館…午前10時～午後5時

※毎週月曜日(本館は7月21日(祝)を除く)と8月15日(金)(館内整理日)は、休館です。

●問合せ 図書館

夏休み ゆとりぎ創作室1を開放します

青少年の学習場所として、ゆとりぎ創作室1を一般開放します。ぜひご利用ください。

期間 7月19日(土)～8月31日(日)

時間 午前9時～正午、午後1時～5時

●問合せ ゆとりぎ

## スポーツコラム～熱中症に気をつけよう～

じめじめとした梅雨の時期が終わりを告げると、暑い夏がやって来ます。元気よく出かける前に、この時期に起こりやすい事故や、病気に注意してください。

今回は熱中症についてお話しします。暑熱環境下では、普段より多量に流れ出る汗によって脱水し、体温調節ができなくなり体温が上昇します。それに伴い、脱力感・倦怠感・めまい・頭痛・吐き気などが起こります。ときには、中枢機能に異常をきたし、意識障害が起こり、死亡するケースも少なくありません。このような障害を熱中症といいます。

特にスポーツ活動中には発汗が多くなるため、より注意が必要になります。スポーツをする前に250ml～500mlの水分を補給するとともに、15分～20分間隔に1回は飲水休憩をとり、1回200ml～250mlの水分をとることが必要といわれています。また、汗には塩分が含まれているため、0.1～0.2%の食塩を入れると効果的です。激しいスポーツをする時などはエネルギー補強のため、3～6%程度の糖分を入れると良いでしょう。終了後も活動前と同様、または2倍程度の水分補給が必要です。スポーツドリンクは、中に含まれるミネラル(塩分等)が、人間の体液と同じ濃度で含まれているため、吸収が早いという点で効果的です。

熱中症は、日射病とは異なります。野球やサッカーのような屋外スポーツだけではなく、バレーボールやバスケットボールといった屋内スポーツでも起こる可能性がある症状です。25度以上の気温がある時は、特に注意し、暑いと思った時は、無理なスポーツをせず、水分をこまめにとって、体調管理をしましょう！

●問合せ 体育課

## 小・中学校一貫教育校情報コーナー①

4月1日発行のはむらの教育に、小・中学校一貫教育校検討委員会の中間報告の概要を掲載しました。今後は、「小・中学校一貫教育校情報コーナー」を設け、説明を加えていきます。第1回は、小・中学校一貫教育校の検討に至った経過について説明します。

羽村市では、児童・生徒一人一人に確かな学力を定着させ、豊かな人間性をはぐくむことを目指して教育活動を進めています。

しかしながら、社会環境の急激な変化等によって、学校教育にも様々な課題が生じています。児童・生徒の学習意欲の低下や家庭での生活習慣や学習習慣の未定着、つまづきを抱えたままでの進級・進学、さらには学年進行とともに増大する不登校の問題など、多くの課題があります。

このような中で、教育基本法及び学校教育法が改正され、新たに義務教育の目標が定められました。また、国の教育再生会議においても、6・3制の弾力化が今後検討すべき事項となりました。今後は、さらに地方分権の中で、国においても画一的な教育から地域や学校の創意工夫による特色ある教育へと方向転換がされ、全国各地において様々な教育改革や教育改善の取組が進められていきます。

羽村市においても、これらのことを踏まえ、第四次羽村市長期総合計画の中で、児童・生徒の学習する意欲と生きる力をはぐくみ、たくましく心やさしい羽村市民へと成長することを願って、羽村の特色を生かした教育活動や学習環境の充実を図っていくこととしています。

小・中学校一貫教育校の構想は、このような教育改革の視点に立って取り組んでいくもので、義務教育9年間を通して、児童・生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばすことができる、きめ細かな教育を実施することにあります。そのために、学校・家庭・地域が力を合わせ、小・中一貫教育を行う新しいシステムの学校を創りあげていこうとするものです。

次号のはむらの教育でも、小・中学校一貫教育校のコーナーを設け、情報を提供していきます。なお、羽村市ホームページ <http://www.city.hamura.tokyo.jp/> に掲載してある報告書を御覧いただき、御意見等がありましたら、御連絡ください。

●問合せ 指導室

## 小・中学校の行事予定 7月～9月

詳しくは、各学校にお問合せください。

- 羽村東小学校
  - 7月28日(月)～8月8日(金)
  - 8月18日(月)～8月22日(金)
  - サマーセカンドスクール(学校公開)
  - ※土、日曜日除く
  - 9月1日(月)緊急下校引き渡し訓練
  - 9月15日(月)～9月16日(火)
  - 学校公開日
- 羽村西小学校
  - 7月24日(木)～8月8日(金)
  - サマースクール ※土、日曜日除く
  - 8月29日(金)
  - 緊急下校引き渡し訓練
  - 8月30日(土) 星空のコンサート
  - 9月17日(水)～9月19日(金)
  - 学校公開日
  - 9月17日(水)
  - 学校保健委員会 講演会
- 富士見小学校

- 7月4日(金)
- サマーコンサート(ゆとろぎ)
- 9月20日(土) 運動会
- 栄小学校
  - 7月18日(金)
  - 緊急下校引き渡し訓練
  - 8月28日(木) 薬物乱用防止教室
  - 9月1日(月)～5日(金)
  - 夏休み作品展
- 松林小学校
  - 8月25日(月)
  - 緊急下校引き渡し訓練
- 小作台小学校
  - 9月1日(月)
  - 緊急下校引き渡し訓練
  - 9月27日(土) 学校公開
- 武蔵野小学校
  - 9月1日(月)
  - 緊急下校引き渡し訓練

- 9月10日(水)
- 道徳授業地区公開講座
- 羽村第一中学校
  - 9月27日(土) 体育大会
- 羽村第二中学校
  - 7月7日(月)～11日(金)
  - 公開授業週間
  - 9月1日(月)～5日(金)
  - 公開授業週間
  - 9月27日(土) 体育大会
- 羽村第三中学校
  - 9月27日(土) 体育大会

### 奨学生予約募集のご案内

#### 交通遺児奨学生

対象 平成21年度に高等学校等に進学を希望している中学校3年生で、保護者等が道路での交通事故で死亡したり、著しい後遺障害で働けないため、教育費負担が困難な家庭の子ども（大学・短期大学奨学生も募集しています。）

出願期間 9月30日（火）まで

#### ●問合せ

財団法人交通遺児育英会  
03-3556-0773  
0120-521286  
フリーダイヤル

#### あしなが奨学生

対象 中学校3年生で、保護者等が病気や災害（道路での交通事故を除く）もしくは自死などで死亡したり、それらが原因で著しい後遺障害を負い、教育費負担が困難な家庭の子ども（高

等学校等に在学している生徒も募集しています。）

出願期限

前期募集

7月30日（水）まで

後期募集

12月15日（月）まで

#### ●問合せ

あしなが育英会

03-3221-0888

#### 訂正とお詫び

「はむらの教育」No.12号（平成20年4月1日発行）において、誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

訂正箇所…6ページ「市内の文化財（羽村市指定文化財4）」

7行目

訂正内容

誤「明治24年に健立」  
正「明治27年に健立」

●問合せ 郷土博物館

## INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ Tel.570-0707  
図書館 Tel.554-2280  
郷土博物館 Tel.558-2561  
スポーツセンター Tel.555-0033  
スイミングセンター Tel.579-3210  
弓道場 Tel.555-9255

羽村東小学校 Tel.554-5663  
羽村西小学校 Tel.554-2034  
富士見小学校 Tel.554-6449  
栄小学校 Tel.554-2024  
松林小学校 Tel.554-7800

小作台小学校 Tel.554-1431  
武蔵野小学校 Tel.555-6904  
羽村第一中学校 Tel.554-2012  
羽村第二中学校 Tel.554-2041  
羽村第三中学校 Tel.555-5131

## 教育随想

### 真空のよつな「景」

巣箱で生まれたシジュウカラの巣立ちを見送って早一年が経つ。十数年前に教え子と一緒に作った巣箱だ。

忘れもしない六月十三日。その日の朝、巣の中の四羽の子どものたちの泣き声はいつもより大きく力強い。

「いよいよ巣立ちの時が来たか。」カメラを構える私の手にも力が入る。

午前十時、親が巣から飛び立つと、後に続く子どもたちが三羽。ところが一羽が木の枝に引っかかりどうしても飛び立てない。遠くの電線から、三羽の兄弟が「早く来い」と言わんばかりに大声で叫ぶ。突如親鳥が子どもにもえさを届けに来た。出遅れた子どもは勇氣凛々発奮し、午前十一時過ぎ、一家は見事に大空に飛ばれていた。

一時間のドラマはこうして終わった。一瞬の「自然の景」に遭遇できた喜びに今も震える自分がここに在る。

教育委員 印南圭子

